

命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成12年11月28日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



ぼくは、涼香ちゃんの話を聞いてわすか7才のぼくより少しあい命がなくなってしまったとても辛く悲しかったです。礼子さんはもうよくやしく悲しかったと思います。自分も登下校中はちゃんと横たん歩道をわたって「右、左、左」の確にんもわすれないようにしようとしました。ぼくは絶対に飲酒運転やスマホをみながら運転しないようにしようとしました。改めてこの話を聞いて命の大切さを知りました。自分が加害者になりたくないとも思いました。涼香ちゃんは今遠いところにいるけど礼子さんは、涼香ちゃんが生きられながら十分生きてあげてください。自分達が交通事故を減らせる最大限のことをしてみたいのです。ぼくは親よりも先に死んでしまわないように気をつけたいです。涼香ちゃん、天国で元気にしているといいですね。

学校名

能代市立
渟城南

小学校

名前

松浦 苍太

苍太さん、大崎さんのお話を聞いて涼香ちゃんのことをたくさん考えてくださってありがとうございます。苍太さんは、「交通事故を減らせる最大限のことをしていい」と思ってくれました。苍太さんのような人でいっぱいの世の中になれば、安心して毎日、生活できるのにと思いました。



命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成12年11月28日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



私は、大崎さんの話を聞いてたくさんのことと思いました。中でも大切だと思ったことを3つ書きます。1つ目は、たった一つの命を大切にしようと思いました。電池はきれてもかえることはできるけど、命はかえることはできないから、たった一つの命を大切にしようと思いました。2つ目は、私は絶対加害者にならないようにしようと思いました。被害者の方、または遺族の方々の悲しさや苦しさ、悔しさを大崎さんが教えてくれたからです。3つ目は、生きていることの幸せです。帰ってきたら「おかえり」と言ってくれる人がいること、当たり前のようにテーブルを囲んでご飯は食べていることを知ったので日々の当たり前を大切にして済みたいと思いました。私は、このような事故を減らしていくことを思っています。

学校名

能代市立
渟城南

小学校

名前

佐藤八椿琉



八椿琉さん、被害者の悲しさ、苦しさ、悔しさに共感していただきありがとうございます。当たり前の毎日が続くように学習教室で感じたことを忘れないで、友達、家族と仲良くしてください。



命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成12年11月28日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



命の大切さ学習教室を通して、4年生のときにも命の危険を強調しつつ、もう一度改めて「命の大切さ」というのを実感しました。大崎さんが言っていた「加害者にならない、加害者をつくらない」という言葉が心に残りました。飲酒運転などのそのための一つの行動で、まだ生きていける命がうばわれてしまうのがとても辛いなことだ」と分かりました。だから、自分もこれから大人になったときも、そして今もこの言葉を思い出して生きていこうと思いました。涼香さんのお兄さん達が涼香さんを救った(あげられた)のが「私も弟がいるので」ともこうかする気持ちが分かりました。自分の妹を思って歌を作ったという行動がとてもやさしいお兄さんだなと思いました。また、「じめなどして自殺して死んでしまう人もいるのでもっと友達を大切にしたい」と思いました。これからはもっと人の命というのを重く感じて生きていくと思いました。

学校名

秋田県能代市
渟城南

小学校

名前

佐藤 涼花



「加害者にならない。加害者をつくらない。」
この言葉や命の大切さをこれからも忘れないでください。

涼香ちゃんのお兄さんのように、涼花さんも
やさしいお姉さんでいてくださいね。



命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成12年11月28日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



私は、お話を聞いて、今は見えている命でも突然見えなくなるかもしれない、もしかしたら自分がそういうなるかも知れない少し怖くなりました。涼香さんはとても明るい子だったのに、なんでこんなことになったんだろうと、運動手さんをにくむ気持ちになりました。でも、そういう運命にならなくても、涼香さんのような前向きな気持ちで笑顔や過ごしたいと思いました。だれかを守ることは、だれかに守られることにもつながると思うので、たくさんの人と協力して生活したいと思いました。涼香さんは軽トラックが突っ込んできたとき「危ない」と言ったというのを聞いて、思いやりの心、みんなに呼びかけてあげたやさしい心が世界中のすべての人に届いてほしいなと思いました。事故のほんの一瞬前までは何が起ころのか分からぬので家族との「おはよう」「いってきます」というすべてのあいさつに心をこめて言いたいと思いました。そして自分が誰かに見えない傷をつけてしまうかもしれない、自転車で死なせてしまうかもしれない、という緊張感や優しさをもって生きたいと思いました。私事ですが、お兄さんが仮免をとったので気をつけてほしいし、事故にあわないように、というのは莫離しいかもしれないけど、周りを見て生活したいです。涼香さんよりも5年間も長生きさせてもらっている(えらべられている)ことを自覚してたくさんの人々に感謝したいです。命の重さは何にも変えることができないくらい尊いものなので、命を本当に本当に大切にして涼香さんの分も精一杯生きたいです。

学校名

渟城南

小学校



育実さんの「だれかを守ることは、だれかに守られること」という言葉、
ここに響きました。お互いに支え合って生活していること
忘れないで、私もハートを込めて、あいつをしていきたいと思います。
お兄さんにぜひ大崎さんのお話を教えてあげてくださいね。



命の大切さ学習教室に参加して

大崎礼子さん(涼香ちゃんのお母さん)に宛てた手紙です。

平成12年11月28日、当時小学1年生の涼香ちゃんは、登校中の児童の列に飲酒運転の軽トラックが突っ込む事故により、亡くなりました。



わたしは「命の大切さ学習教室に参加して被害者やその家族の悲しみと生きていることの大切さ」この2つのことについて考えました。1つ目の被害者やその家族の悲しみは、ばかりしれないものだと思ひます。そのため将来の車の運転や今の自転車の運転に気をつけて加害者や被害者を出さないようにしたいと思いました。2つ目の生きていることの大切さは、ふたん当たり前のように家族や友人と過ごしている日々が本当は一番大切というふつうの大切さについて考えることができました。この「命の大切さ教室を通して本当に色々なことを考えることができました。そして本当に本当にありがとうございました。わたしは、今回教えてもらったことを考えたことをずっとずっとわすれずにこれからを過ごしていきたいです。

学校名

渟城南

小学校

名前

畠山 淩子



畠山



自転車を運転するときから周りをよく見てルールを守るように気をつけていれば、その経験は、いつか車を運転する時に安全運転のために必ず役に立つはずです。大崎さんのお話を思い出して、当たり前の日々を大切に、家族や友人と仲良く過ごしてください。

